

<履修者が250名を超える講義科目について（補足）>

履修者が250名を超える科目においては、「ハイブリッド授業マニュアル」（注1のPDFファイル14ページ）に記載しているとおり、Google Meetの機能の制約上「ライブストリーミング機能」を併用しつつ「同時双方向オンライン講義」（注2）を実施いただくことになります。

（注1）「ハイブリッド授業マニュアル」は下のURLから参照可能です。

<https://drive.google.com/file/d/1pDvSRPyEaTTnJZQmVNtOIh-ATJG9WgBg/view>

（注2）ここでいう「同時双方向オンライン講義」とは、「リアルタイム（ライブ）のオンライン講義」を指し、授業の録画を、学生がいつでも視聴できる「オンデマンド講義」とは異なります。なお2021年度は、本学では「オンデマンド講義」での受講は、学びの質保証の観点から正規の方法としていません。ただしネットワーク環境にトラブルが生じた学生など、やむを得ない事情とみなせる場合は、閲覧時間や視聴可能な学生を制限するなどして「オンデマンド講義」を例外的に認めてください。

「ライブストリーミング機能」を併用した「同時双方向オンライン講義」は、指定された授業時間に、対面用教室にてGoogle Meetの会議室を開いて講義を行っていただくという点に関しては、250名以下の講義科目と同じです。ただし、次の（1）から（3）までの要領で授業を準備、進行いただくことが必要となります。

（1）授業開始前に、「ハイブリッド授業マニュアル」（注1のURLのPDFファイル14ページ）の要領で、「ライブストリーム」の「教室」を準備し、学生たちにはまずはこの「教室」にアクセスするように案内します。同時に、後述の（3）で使用する通常（250名以下）のGoogle Meetの「教室（会議室）」も開設されるため、あらかじめ学生たちに案内をしておくといいますが、学生に対しては、まずは授業開始の際に「ライブストリーム」の「教室」の方に入るように案内することが必要となります。

当日の授業においては、先生は対面用教室で、Google Meetを起動し、「同時双方向オンライン講義」を実施いただきます。「ライブストリーム」は、Google Meet画面の右下の「⋮」（その他のオプション）から「ストリーミングを開始」していただき、しばらく待つと「ライブストリーム」が開始されます。

（2）ただし、「ライブストリーム」の「教室」にいる学生の側からは、質問等の発言ができません。そのため、この状態では「同時双方向性」は保証されない（教員からの一方向性である）こととなりますので注意が必要です。

（3）先生方が「ライブストリーム」での講義を終えたあと、「質問等のある学生のみ」に限定して、「ライブストリーム」の「教室」と同時に開設される、250名以下用の「教室（会議室）」に移動をさせて（一旦「ライブストリーム」の「教室」を「退出」させ、同時双方向用の「教室（会議室）」に「入室」させる）、そこで双方向性のやりとりをしていただきます。このことにより「同時双方向性」を保証するかたちになります。なお、「ライブストリーム」での講義時間は、できるだけ「質疑応答」の時間を保証するためにも、90分よりも短めにさせていただくことが望ましいですが、授業時間外に、別途、WebClassなどで「質疑応答の機会を確実に設けていただく」のであれば、必ずしもこれに限りません。

なお、1つの授業のもとで、2台のパソコン等の端末を準備することにより（ただし、対面用教室に備え付けのパソコンは1台であるため、1台は独自にご準備いただくこととなります）、2つのGoogle Meetの「教室（会議室）」を同時に開設し、受講する学生の「教室（会議室）」を学籍番号（たとえば奇数、偶数など）で振り分けるという方法であれば、250名以下のGoogle Meetの授業と同じ要領で「同時双方向オンライン講義」も可能です。ただし事前に動作確認や、いくつかの作業上のスキル（2台の端末を用いることに伴う、資料や学生の発言等の共有）も必要ですのでご注意ください。

いろいろとご不便をおかけいたしますが、よろしくご留意申し上げます。